



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月23日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サイバーエージェント
コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤田 晋

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 中山 豪

TEL 03-5459-0202

四半期報告書提出予定日 平成27年4月24日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	123,961	28.9	20,729	91.7	21,018	94.2	9,870	98.9
26年9月期第2四半期	96,162	17.0	10,813	109.1	10,825	102.4	4,963	△48.1

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 13,384百万円 (143.4%) 26年9月期第2四半期 5,500百万円 (△46.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	157.72	157.02
26年9月期第2四半期	79.56	79.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第2四半期	113,203	72,999	55.9
26年9月期	100,545	63,175	54.2

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 63,290百万円 26年9月期 54,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	60.00	60.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年9月期期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 記念配当20円00銭

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	16.9	28,000	26.0	28,000	26.2	14,000	46.5	223.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期2Q	63,213,300 株	26年9月期	63,213,300 株
② 期末自己株式数	27年9月期2Q	559,800 株	26年9月期	720,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期2Q	62,578,564 株	26年9月期2Q	62,387,082 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成26年3月末のスマートフォン保有率は53.5%と過半数を超えるまで拡大しております。また、スマートフォン保有者のSNS利用率は63.3%に達しており、SNSサービスの普及が進んでおります(注1)。スマートフォンの普及拡大を背景に、平成27年のスマートフォンゲーム市場は前年比13.3%増の7,462億円、スマートフォン広告市場は前年比29.8%増の3,903億円(注2)と高成長が見込まれております。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォン関連事業に経営資源を集中し、当第2四半期連結累計期間におけるスマートフォン関連の売上高は、売上高構成比(投資育成事業の売上高を除く)の77.3%まで拡大する等、収穫期を迎えております。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は123,961百万円(前年同期比28.9%増)、営業利益は20,729百万円(前年同期比91.7%増)、経常利益は21,018百万円(前年同期比94.2%増)、四半期純利益は9,870百万円(前年同期比98.9%増)と大幅な増収増益となりました。

出所 (注1) 総務省「平成26年版 情報通信白書」

(注2) CyberZ/シード・プランニング「スマートフォン市場動向調査」及び「2015年 スマートフォン広告市場動向調査」

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①Ameba事業

「Ameba」のサービス拡充や運用・改善、構造改革等の成果により、売上高は18,423百万円(前年同期比13.1%増)、営業損益は3,784百万円の利益計上(前年同期比185.3%増)となりました。

②ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)サムザップ、(株)アプリボット等が属しております。

ネイティブゲームが牽引し、売上高は29,982百万円(前年同期比22.8%増)、営業損益は7,126百万円の利益計上(前年同期比63.2%増)となりました。

③インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、(株)CyberZ、(株)CAリワード等が属しております。

スマートフォン広告の順調な販売等により、売上高は68,158百万円(前年同期比25.3%増)、営業損益は6,666百万円の利益計上(前年同期比30.9%増)となりました。

④メディアその他事業

メディアその他事業には、新世代トークアプリ「755(ナナゴーゴー)」、動画・音楽関連等のエンターテインメント事業、(株)シーエー・モバイル等のメディア事業が属しております。

「755」、エンターテインメント事業等の立ち上げに伴う先行投資により、売上高は9,252百万円(前年同期比28.5%増)、営業損益は1,206百万円の損失計上(前年同期間198百万円の利益計上)となりました。

⑤投資育成事業

投資育成事業には当社のコーポレートベンチャーキャピタル事業、(株)サイバーエージェント・ベンチャーズにおけるファンド運営等が属しており、キャピタルゲインを目的とした国内及びアジア圏の有望なベンチャー企業の発掘・育成・価値創造等を行っております。

保有株式の売却等により、売上高は6,026百万円(前年同期比1,295.9%増)、営業損益は4,880百万円の利益計上(前年同期間106百万円の損失計上)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は113,203百万円(前連結会計年度比12,658百万円の増加)となりました。これは、主に売上高の拡大に伴う受取手形及び売掛金の増加、投資先の上場に伴う営業投資有価証券の増加によるものであります。

負債は40,204百万円(前連結会計年度比2,834百万円の増加)となりました。これは、主に売上高や利益の拡大に伴う買掛金及び未払法人税等の増加によるものであります。

純資産は72,999百万円(前連結会計年度比9,823百万円の増加)となりました。これは、主に四半期純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて841百万円減少し、30,598百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは15,823百万円の増加(前年同期間は2,477百万円の増加)となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは14,369百万円の減少(前年同期間は5,589百万円の減少)となりました。これは、主に固定資産及び投資有価証券の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは2,521百万円の減少(前年同期間は1,787百万円の減少)となりました。これは、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月30日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,446	30,605
受取手形及び売掛金	28,807	31,703
たな卸資産	39	50
営業投資有価証券	9,517	11,818
その他	3,842	3,523
貸倒引当金	△46	△91
流動資産合計	73,605	77,610
固定資産		
有形固定資産	5,989	6,503
無形固定資産		
のれん	3,735	4,796
その他	10,604	11,473
無形固定資産合計	14,339	16,270
投資その他の資産		
その他	6,668	12,943
貸倒引当金	△58	△123
投資その他の資産合計	6,609	12,819
固定資産合計	26,939	35,593
資産合計	100,545	113,203
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,681	19,896
短期借入金	30	55
未払法人税等	4,604	7,515
その他	14,014	11,459
流動負債合計	36,329	38,925
固定負債		
長期借入金	—	150
勤続慰労引当金	344	410
資産除去債務	695	718
固定負債合計	1,040	1,278
負債合計	37,369	40,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	2,393	2,484
利益剰余金	44,745	50,866
自己株式	△1,522	△1,183
株主資本合計	52,819	59,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,415	3,453
為替換算調整勘定	301	466
その他の包括利益累計額合計	1,717	3,919
新株予約権	199	210
少数株主持分	8,439	9,497
純資産合計	63,175	72,999
負債純資産合計	100,545	113,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	96,162	123,961
売上原価	62,796	77,061
売上総利益	33,365	46,899
販売費及び一般管理費	22,551	26,169
営業利益	10,813	20,729
営業外収益		
受取利息	8	1
持分法による投資利益	—	166
為替差益	4	60
その他	39	97
営業外収益合計	53	326
営業外費用		
支払利息	3	2
持分法による投資損失	1	—
消費税等調整額	4	10
その他	32	24
営業外費用合計	41	37
経常利益	10,825	21,018
特別利益		
持分変動利益	167	199
その他	69	0
特別利益合計	236	200
特別損失		
減損損失	1,072	1,785
その他	389	706
特別損失合計	1,461	2,492
税金等調整前四半期純利益	9,600	18,727
法人税、住民税及び事業税	3,455	7,618
法人税等調整額	716	37
法人税等合計	4,172	7,656
少数株主損益調整前四半期純利益	5,427	11,070
少数株主利益	464	1,199
四半期純利益	4,963	9,870

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,427	11,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	2,191
為替換算調整勘定	67	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	107
その他の包括利益合計	72	2,314
四半期包括利益	5,500	13,384
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,983	11,847
少数株主に係る四半期包括利益	517	1,537

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,600	18,727
減価償却費	1,930	2,669
のれん償却額	207	240
減損損失	1,072	1,785
売上債権の増減額(△は増加)	△5,483	△3,070
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△1,393	46
仕入債務の増減額(△は減少)	2,234	2,178
未払金の増減額(△は減少)	132	△1,718
未払消費税等の増減額(△は減少)	405	△702
その他	400	346
小計	9,106	20,501
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△6,627	△4,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,477	15,823
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,074	△1,002
無形固定資産の取得による支出	△3,912	△4,776
投資有価証券の取得による支出	△51	△3,542
関係会社株式の取得による支出	△91	△1,455
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 に対する前期末払分の支払による支出	—	△927
子会社の自己株式の取得による支出	—	△1,999
その他	△459	△664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,589	△14,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50	23
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△364	△10
少数株主からの払込みによる収入	503	600
自己株式の処分による収入	361	413
配当金の支払額	△2,180	△3,746
その他	△156	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,787	△2,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	85	225
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,814	△841
現金及び現金同等物の期首残高	28,448	31,439
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,634	30,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計 算書計上額
	Ameba	ゲーム	インターネ ット広告	メディア その他	投資育成	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	13,803	24,290	51,266	6,393	407	96,162	—	96,162
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,489	118	3,150	803	24	6,587	△6,587	—
計	16,293	24,409	54,417	7,197	431	102,749	△6,587	96,162
セグメント利益又は損失 (△)	1,326	4,366	5,093	198	△106	10,878	△64	10,813

(注)セグメント利益の調整額△64百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Ameba」、「ゲーム」、「インターネット広告」、「メディアその他」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下及びサービスの廃止等により当初想定していた収益が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

Ameba	484百万円
ゲーム	32百万円
インターネット広告	182百万円
メディアその他	372百万円
合計	1,072百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計 算書計上額
	Ameba	ゲーム	インターネ ット広告	メディア その他	投資育成	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	15,095	29,825	64,714	8,299	6,026	123,961	—	123,961
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,327	157	3,443	953	—	7,881	△7,881	—
計	18,423	29,982	68,158	9,252	6,026	131,842	△7,881	123,961
セグメント利益又は損失 (△)	3,784	7,126	6,666	△1,206	4,880	21,251	△521	20,729

(注)セグメント利益の調整額△521百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、セグメント情報の利用者にとって明瞭で有用な情報開示を目的として、「ゲーム・その他メディア事業」を「ゲーム事業」及び「メディアその他事業」へと変更しております。

また、当社グループ内の事業再編に伴い、事業の実態に合わせ、従来「Ameba関連事業」に属していた(株)AMoAdを「インターネット広告事業」に、コミュニティ及びエンターテインメントに関する事業を「メディアその他事業」に移管したうえで、「Ameba関連事業」の名称を「Ameba事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「Ameba」、「ゲーム」、「インターネット広告」、「メディアその他」、「全社」セグメントにおいて、一部サービスの収益性低下及びサービスの廃止等により当初想定していた収益及び費用削減が見込めなくなったため、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

Ameba	292百万円
ゲーム	1,010百万円
インターネット広告	93百万円
メディアその他	382百万円
全社	6百万円
合計	1,785百万円

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。